



体育館の殺人

青崎有吾／著
東京創元社(2012年) 本体価格1700円+税

風ヶ丘高校の旧体育館で
殺人事件が起きた。
疑われているのは卓球部部长。
部員の袖乃は、部長の無実を信じ、
学内一の天才・裏染天馬に
事件の解明を頼んだ。
けれど、校内に住んでいるらしいし、
アニメオタクだし、お金をとるし…。
部長の無実は明らかになるのか、
真犯人はわかるのか…。
いったいどうなっちゃうの？

※第22回鮎川哲也賞受賞

ホラー&ミステリー

魔女は甦る

中山七里／著
幻冬舎文庫(2013年) 本体価格648円+税

肉片になるまでバラバラにされた
男性の死体が見つかった。
どうやらカラスにやられたらしい。
彼は生前、
自分は魔女の子孫だと言っていた。
調べていくうちに明らかになる
悲惨な過去。
そして、謎のグローバル企業が開発する
新薬の、本当の効果とは…？

※2011年刊行の本は、中央・わかざり・武蔵野台所蔵

